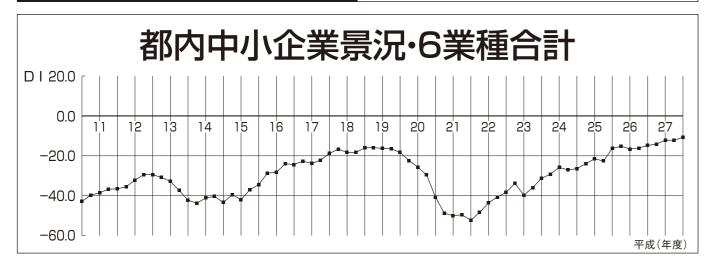
景況調査結果 平成 27年 10月~12月期

特別調査

	个里	训性,	表、8年か	リにノ	フ人	に転し	10 0 '	~運設	え 業、堅証	削し	推移~	
見の「一門」とは「一門」と	日銀短観	全国の景況	都内中小企業景況調査 業況、売上額、	プラスに転じる。 業況、8年ぶりに	大企業·官公庁請負、好調。	業況、水面下ながらやや上向く。	業況の格差続く。	業況、足踏み状態。	厳しさが続く。業況、前期同様の	都内中小企業景況調査概況	「平成2年の経営見通しについて」	
			、収益、価格動向:	「都心」「副都心」「多摩」大きく好転 不動産業	来期、全業種で良好感が強まると予想	いずれも改善予想・収益・サーー・	大きく改善「家電・家庭用機械」水面下ながら	いずれも改善予想来期は業況・売上額・収益	「精密機械」では大きくプラスに転じる		通しについて」	
				小動 産 業 …	建設業	サービス業…	小 売 業 ::	卸売業	製造業:			

16 15 15 11



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-10.7(前期は-12.2)と前期に比べ1.5ポイント改善した。業種別に見ると、建設業で好調感が強まり、不動産業でわずかに好転し、小売業・サービス業で水面下ながら若干持ち直した。

来期は、建設業で好調感が強まり、製造業・卸売業・サービス業で水面下ながら改善すると予想している。

			前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製	造	業	-11.1	-10.0	1.1	-6.5	3.5
卸	売	業	-11.2	-9.8	1.4	-7.6	2.2
小	売	業	-26.7	-25.3	1.4	-23.9	1.4
サ	ービス	業	-13.5	-12.2	1.3	-8.7	3.5
建	設	業	6.6	8.9	2.3	13.5	4.6
不	動産	業	-0.7	1.3	2.0	0.0	-1.3
総		合	-12.2	-10.7	1.5	-7.8	2.9

●製造業

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・受注残・収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格は多少落着きを見せた。

業種別に見ると、「輸送用機械」「化学工業」は前期並の良好感が続いた。「精密機械」は大きくプラスに転じ、「電気機械」はかなり明るさが見えた。「プラスチック」「食料品」は幾分持ち直した。「繊維・衣服」「皮革関連」はかなり厳しさが和らいだ。「一般機械」「印刷関連」は前期同様の厳しさが続き、「プレス・メッキ」「金属製品」「木材・家具」「ゴム製品」「紙・紙加工品」はやや低調感を強めた。「建設用金属」は大幅に業況感が落込んだ。

来期の業況は水面下ながら改善するとみている。売上額・受注残・収益は回復の兆しが見えると予想している。

●小売業

業況はわずかに厳しさが和らいだ。売上額・収益は若干 改善した。

価格面では、販売価格はわずかに上昇に転じ、仕入価格は前期並の上昇が続いた。

業種別では、「家電・家庭用機械」「カメラ、時計・眼鏡」は水面下ながら大きく改善し、「ガソリンスタンド・燃料」「飲食料品」は多少厳しさが和らいだ。一方、「飲食店」は若干低迷し、「スポーツ用品・玩具」「医薬品・化粧品」「家具・建具・じゅう器」はかなり深刻さを増した。

来期の業況は、今期同様の厳しさが続くと予想している。売上額・収益は引続き改善するとみている。

●建設業

業況はやや好調感が強まった。売上額は前期同様の増加が続き、受注残・施工高は若干強含み、収益は前期同様の水準で推移した。

価格面では、請負価格はわずかに上昇幅が拡大し、材料価格は前期並の上昇が続いた。

業種別に見ると、「総合工事」「設備工事」は幾分上向 き、「職別工事」は前期並の良好感が続いた。

来期の業況はさらに好調感が強まると予想している。売上額・収益は堅調に推移し、受注残・施工高は今期同様の増加が続くとみている。

●卸売業

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益は、ともに前期並の低迷が続いた。

価格面では、販売価格は前期並の高い水準が続き、仕 入価格はやや落着きを見せた。

業種別では、「機械器具」はかなり良好感が強まり、「化学製品」は大きくプラスに転じた。水面下ながら、「建築材料」「鉱物・金属材料」は大幅に厳しさが和らぎ、「繊維・衣服」は多少持ち直した。一方、「食料品・飲食料品」は幾分厳しさを増した。

来期の業況は、水面下ながら上向くとみている。売上額収益は減少が一服すると予想している。

●サービス業

業況は水面下ながらやや上向いた。売上額・収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、料金価格は変動なく推移し、材料価格はやや落着きを見せた。

業種別に見ると、「自動車整備・駐車場」「洗濯・理容・美容」は水面下ながら多少改善し、「情報サービス・調査・広告」は大きく悪化に転じた。

来期の業況は厳しさが和らぐとみている。売上額・収益 はともに改善するとみている。

●不動産業

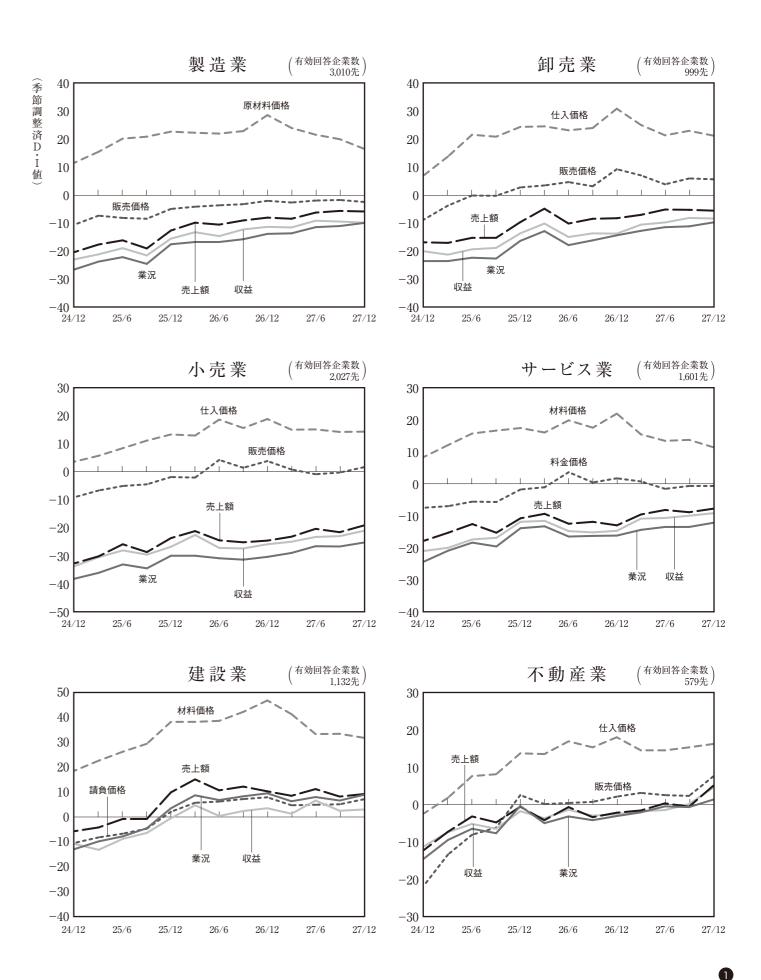
業況はわずかにプラスに転じた。売上額は大きく水面下を脱し、収益は幾分良化した。

価格面では、販売価格はかなり上昇し、仕入価格は前期並の高い水準が続いた。

業種別に見ると、「建売・土地売買」は前期並の良好感が 続き、「不動産代理・仲介」は前期同様変化なく推移した。

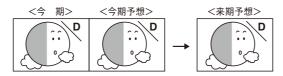
来期の業況は、今期同様変化がないものとみている。売 上額は今期同様の増加が続き、収益は増加基調が一服 すると予想している。

都内中小企業の景況の推移



製造業

有効回答企業数 3,010先



業況、前期同様の厳しさが続く。

―「精密機械」では大きくプラスに転じる ―



業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・受注残・ 収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格は多少落着きを見せた。資金繰りは前期並の苦しさで、 在庫は適正水準が続いた。

経営上の問題点では上位に変動がなく、「売上の停滞・減少」(44%)、「同業者間の競争の激化」(32%)、「利幅の縮小」(22%)の順となっている。

重点経営施策では上位に変動がなく「販路を広げる」(64%)、「経費を節減する」(48%)、「情報力を強化する」(17%)、「新製品・技術を開発する」(14%)の順となった。

来期見通し

来期の業況は水面下ながら改善するとみている。売上額・受注残・収益は回復の兆しが見えると予想している。 価格面では、販売価格はほぼ横這いで推移し、原材料価格は上昇が弱まるとみている。

<···········業種別·規模別動向 ·······→



業種別に見ると、「輸送用機械」「化学工業」は前期並の良好感が続いた。「精密機械」は大きくプラスに転じ、「電気機械」はかなり明るさが見えた。「プラスチック」「食料品」は幾分持ち直した。「繊維・衣服」「皮革関連」はかなり厳しさが和らいだ。「一般機械」「印刷関連」は前期同様の厳しさが続き、「プレス・メッキ」「金属製品」「木材・家具」「ゴム製品」「紙・紙加工品」はやや低調感を強めた。「建設用金属」は大幅に業況感が落込んだ。

来期は、「化学工業」「精密機械」「電気機械」は好調感が強まり、「ゴム製品」「印刷関連」「皮革関連」「一般機械」「食料品」「建設用金属」「プレス・メッキ」「繊維・衣服」「金属製品」は水面下ながら改善するとみている。「プラスチック」は今期同様変化なく、「輸送用機械」は好調感が後退し、「木材・家具」「紙・紙加工品」は深刻さを増すとみている。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「1~4人」規模はやや持ち直し、「5~9人」規模は前期同様の厳しさが続き、「10~19人」規模は前期同様変化がなかった。「20~49人」「50~99人」規模は前期並の良好感が続き、「100~300人」規模はやや好調感が後退した。

来期は $\lceil 1\sim 4$ 人」規模は厳しさが和らぎ、 $\lceil 5\sim 9$ 人」規模は今期同様の厳しさが続くと予想している。 $\lceil 10\sim 19$ 人」規模はプラスに転じ、 $\lceil 20\sim 49$ 人」 $\lceil 50\sim 99$ 人」 $\lceil 100\sim 300$ 人」規模は今期を上回るとみている。

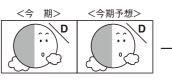
中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業種別	前期の 業 況	今期0	D業況	今期 予想	来期 予想
業 種 合 計	-11.1	* —10.0	(i)	-10.0	-6.5
輸送用機械	7 /	* 8	(::)°	2	6
化学工業	6	7 7	(::)°	5	11
精 密 機 械	-2	7 6	(::)°	0	8
電気機械	-8	* 0	()°	1	5
プラスチック	<u>−</u> 7	* −2		-3	-1
一般機械	-6	* −5	11	-6	-3
食 料 品	-12	7 −7	(i)	-12	-5
建設用金属	-1	√ −8	(i)	-3	-4
プレス・メッキ	-8	<u>√</u> −11		-9	-6
繊 維・衣 服	−21 ∤	* −11		-16	-7
金属製品	-11	<u> </u> —13		-12	-11
木材・家具	-14	- 16		-18	-18
ゴム製品	-13	- 17		-12	-9
紙・紙加工品	-20	-22		-23	-27
印刷関連	-26	→-26		-24	-20
皮革関連	-34	* −26		-32	-19
1 ~ 4 人	-27	* −25		-27	-22
5 ~ 9 人	-6	* −5	(i)	-7	-4
10~19人	-2 +	→ -2		2	3
20~49人	4	+ 4	(::)°	7	10
50~99人	13	1 2	(1.1) [®]	17	26
100~300人	25	20	A A	25	25

(小数点第1位四捨五入)

卸売業

勃回答企業数 999先





業況、足踏み状態。

— 来期は業況·売上額·収益いずれも改善予想 —

今期

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益は、と もに前期並の低迷が続いた。

価格面では、販売価格は前期並の高い水準が続き、仕 入価格はやや落着きを見せた。

資金繰りは前期同様の厳しさが続き、在庫は多少調整 が進んだ。

経営上の問題点としては、前期に引続き「売上の停滞・減少」(44%)、「同業者間の競争の激化」(41%)、「利幅の縮小」(25%)の順となった。

重点経営施策は「販路を広げる」(69%)、「経費を節減する」(46%)、「情報力を強化する」(21%)とこちらも前期同様の順となった。

来期見通し

来期の業況は、水面下ながら上向くとみている。売上額・収益は減少が一服すると予想している。

価格面では、販売価格は今期並の高い水準が続き、 仕入価格は上昇が弱まるとみている。

<···········業種別·規模別動向·······▶



業種別では、「機械器具」はかなり良好感が強まり、「化学製品」は大きくプラスに転じた。水面下ながら、「建築材料」「鉱物・金属材料」は大幅に厳しさが和らぎ、「繊維・衣服」は多少持ち直した。一方、「食料品・飲食料品」は幾分厳しさを増した。

来期は、「機械器具」は堅調に推移し、「建築材料」 「食料品・飲食料品」は水面下ながら改善すると予想している。一方、「繊維・衣服」「鉱物・金属材料」は低調感を強めるとみている。

納入先別

納入先別では、「大メーカー」は大きくプラスに転じ、「中小メーカー」「問屋・商社」は水面下ながら若干明るさが見えた。一方、「小売業者」はわずかに低迷した。

来期は、「小売業者」が水面下ながら持ち直す一方、 「大メーカー」は増勢が一服するとみている。

従業員規模別

従業員規模別では、「20~49人」規模は若干好調感が増し、「1~4人」規模は水面下ながらわずかに持ち直した。一方、「5~9人」規模は多少悪化した。

来期は、「50~100人」規模は堅調に推移し、「10~19人」規模は良好感が出て、「1~4人」規模は水面下ながら上向くとみている。

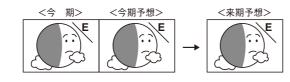
中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業 種 別	前期の 業 況 今期	の業況	今期 予想	
業種合計	-11.2 -9.8		-8.1	-7.6
機械器具	1 7		5	13
化 学 製 品	-1 / 5		-7	- 5
建築材料	-13 7 -7		-2	-5
食料品・飲食料品	-11 -14	TO E	-4	<u>-9</u>
繊 維・衣 服		13 E	_21	-20
鉱 物 ・ 金属材料	-30 7-22		-26	-24
家具・建具	-13 \ -25		-21	-30
大メーカー	-3 / 4		3	1
中小メーカー	_8 / −5	(i)	-6	-4
問 屋・商 社	-10 / -8		-6	- 7
小 売 業 者	-17 \-19		-15	-13
1 ~ 4 人	-25 / -23		-22	-19
5 ~ 9 人	-10 \-12	T:)E	-12	-12
10~19人	-5 / -3	: P	2	0
20~49人	10 / 15	(1.1)B	16	15
50~100人	16 + 16	(::)B	22	20

(小数点第1位四捨五入)

小売業

有効回答企業数 2.027年



従業員規模による業況の格差続く。

-- 「家電·家庭用機械」水面下ながら大きく改善 --



業況はわずかに厳しさが和らいだ。売上額・収益は若 干改善した。

価格面では、販売価格はわずかに上昇に転じ、仕入価格は前期並の上昇が続いた。資金繰りは前期同様の厳しさで推移し、借入難易度は前期並の苦しさが続いた。

経営上の問題点としては、第1位が「売上の停滞・減少」(47%)、次いで「同業者間の競争の激化」(33%)、「大型店との競争の激化」(30%)の順となっている。

重点経営施策としては、第1位が「経費を節減する」(47%)、次いで「品揃えを改善する」(35%)、「宣伝・広告を強化する」(24%)、「売れ筋商品を取り扱う」(22%)の順となっている。

来期見通し

来期の業況は、今期同様の厳しさが続くと予想している。売上額・収益は引続き改善するとみている。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は上昇が弱まると予想している。

<!·····*業種別·規模別動向 ······>



業種別では、「家電・家庭用機械」「カメラ、時計・眼鏡」は水面下ながら大きく改善し、「ガソリンスタンド・燃料」「飲食料品」は多少厳しさが和らいだ。一方、「飲食店」は若干低迷し、「スポーツ用品・玩具」「医薬品・化粧品」「家具・建具・じゅう器」はかなり深刻さを増した。

来期は、「自転車・自動車」「飲食店」「スポーツ用品・玩具」「医薬品・化粧品」「カメラ、時計・眼鏡」は厳しさが和らぎ、「ガソリンスタンド・燃料」「家電・家庭用機械」は業況感が落込むと予想している。

立地条件別

立地条件別では、「団地内」は大きく持ち直し、「その他」はやや厳しさが和らいだ。

来期は、「駅周辺」「その他」が水面下ながら上向くと 予想している。

従業員規模別

従業員規模別では、「20~50人」規模はかなり好調感が増し、「10~19人」規模は若干明るさが見えた。

来期は、「1~4人」規模は厳しさが和らぎ、「20~50人」規模は好調感が縮小すると予想している。

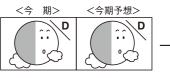
中分類業種別·従業員別動向 (業況判断D.I季調済)

業 種 別	前期の 業 況		の業況	今期 予想	
業種合計	-26.7	-25.3		-25.9	
ガソリンスタンド・燃 料	-17,	r−13		-17	-20
家 電 · 家 庭 用 機 械	-28 /	r−19	(i)	-26	-24
木 材・ 建築材料	−31 ⁄	-22		-19	
自転車・自動車	-23 <i>/</i>	-22		-19	'
飲 食 店	-19 `	-23		-19	-20
飲食料品	-28 /	r−24		-27	-23
スポーツ用品 ・ 玩 具	-11 ·	-26			-24
医薬品·化粧品	-20	-26		-19	
書籍・文房具	-29 ·	-30		-35	-29
カ メ ラ 時 計・眼 鏡	-42	-32		-37	-28
繊維・衣服・身の回り品	−35 ⁄	-34		-34	-34
家具・建具・じゅう器	-34	√ −45			
駅 周 辺	-21-	-21		-21	-19
住宅地隣接	-30-	-30		-31	-30
団 地 内	-31 /	- –24		-31	-24
その他	-29 /	r−24		-25	-22
1 ~ 4 人	-33-	-33		-32	-30
5 ~ 9 人	-8	– 9	() () () () () () () () () ()	-10	-8
10~19人	-8 /	7 −5	(ii)°	-4	-6
20~50人	1 /	11	and A	1	8

(小数点第1位四捨五入)

サービス業

有効回答企業数 1,601先





業況、水面下ながらやや上向く。

- 来期は業況·売上額·収益いずれも改善予想 -

今期

業況は水面下ながらやや上向いた。売上額・収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、料金価格は変動なく推移し、材料価格は やや落着きを見せた。資金繰りはわずかに改善し、人手 は前期並の不足感が続いた。

経営上の問題点を見ると、上位の順位に変動はなく、第1位は「同業者間の競争の激化」(45%)であり、以下「売上の停滞・減少」(37%)、「人手不足」(18%)、「利幅の縮小」(16%)が続いた。

重点経営施策についても上位の順位に変動はなく、第1位は「販路を広げる」(44%)であり、以下「経費を節減する」(43%)、「宣伝・広告を強化する」(22%)、「人材を確保する」(20%)が続いた。

来期見通し

来期の業況は厳しさが和らぐとみている。売上額・収益 はともに改善するとみている。

価格面では、料金価格は変動なく推移し、材料価格は 今期並の上昇が続くとみている。

<------業種別·規模別動向 ·····->



業種別に見ると、「自動車整備・駐車場」「洗濯・理容・ 美容」は水面下ながら多少改善し、「情報サービス・調 査・広告」は大きく悪化に転じた。

来期は、「情報サービス・調査・広告」は再びプラスに転じ、「自動車整備・駐車場」は厳しさが和らぎ、「洗濯・理容・美容」は今期同様の厳しさが続くとみている。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「1~4人」規模はわずかに持ち直し、「5~9人」規模は前期同様の厳しさが続いた。「10~19人」規模は前期同様変化なく、「20~49人」規模はやや好調感が後退し、「50~100人」規模は若干良化した。

来期は、「1~4人」規模は今期同様の厳しさが続き、「5~9人」規模は持ち直すとみている。「10~19人」規模は好調に転じ、「20~49人」規模は堅調に推移し、「50~100人」規模は今期並の良好感が続くとみている。

中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業種別	前期の 業 況 今	期の業況	今期 予想	
業種合計	-13.5×-12	2.2	-12.1	-8.7
情報サービス・調査・広告	1 1 -	6	1	1
娯楽	-13 / -9	9	-10	-2
自動車整備 ・駐車場	_25 ∤ _2	21	-23	-19
洗 濯・理 容 ・ 美 容	-30 / -2	6	-29	-25
1 ~ 4 人	_29 ₹ _2	6	-28	-26
5 ~ 9 人	-11 7 -1	0	_5	-2
10~19人	-2 \ -3	3 2:00	-1	5
20~49人	12 \ 9	C.: B	11	14
50~100人	17 7 19	A LANGE TO A	15	19

(小数点第1位四捨五入)

建設業

有効回答企業数 1.132分



大企業·官公庁請負、好調。

— 来期、全業種で良好感が強まると予想 —



業況はやや好調感が強まった。売上額は前期同様の 増加が続き、受注残・施工高は若干強含み、収益は前期 同様の水準で推移した。

価格面では、請負価格はわずかに上昇幅が拡大し、 材料価格は前期並の上昇が続いた。資金繰りは前期並 の苦しさで推移し、人手は多少不足感が強まり、借入難 易度は前期同様変わらず推移した。

経営上の問題点を見ると、第1位が「同業者間の競争の激化」(35%)が最も高く、次いで「人手不足」(32%)、「売上の停滞・減少」(28%)、「材料価格の上昇」(24%)の順となっている。

重点経営施策は上位の順位に変動はなく、「経費を節減する」(49%)、「販路を広げる」(45%)、「人材を確保する」(35%)の順となっている。

来期見通し

来期の業況はさらに好調感が強まると予想している。 売上額・収益は堅調に推移し、受注残・施工高は今期同 様の増加が続くとみている。

価格面では、請負価格は今期並の上昇が続き、材料 価格は上昇が弱まると予想している。

<-----業種別·規模別動向 ·····→



業種別に見ると、「総合工事」「設備工事」は幾分上向き、「職別工事」は前期並の良好感が続いた。

来期は、全業種で良好感が強まると予想している。

請負先別

請負先別に見ると、「大企業請負」「官公庁請負」は大きく好調感が増した。「中小企業請負」は前期並の良好感が続き、「個人請負」は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、「大企業請負」「中小企業請負」は強含み、「個人請負」は明るさが見えると予想している。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「20~49人」「50~99人」規模は大きく好調感が強まり、「10~19人」規模は若干強含んだ。一方、「5~9人」規模はわずかに弱含んだ。

来期は、 $\lceil 5 \sim 9 \land \rfloor \lceil 20 \sim 49 \land \rfloor$ 規模は良化し、 $\lceil 1 \sim 4 \land \rfloor$ 規模は厳しさが和らぎ、 $\lceil 10 \sim 19 \land \rfloor \lceil 50 \sim 99 \land \rfloor$ 規模は増勢が後退するとみている。

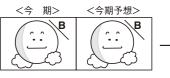
中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業種別	前期の 業 況	今期の	の業況	今期 予想	来期 予想
業種合計	6.6	8.9	()°	7.8	13.5
職別工事	9	9	(::)°	10	15
総合工事	5	7	(::)°	5	10
設備工事	8 7	12	(::)B	12	19
大企業請負	22	32		27	37
官公庁請負	19 🖟	25		21	25
中小企業請負	4	4	()°	5	11
個人請負	-8	-8	(1.1.) P	-9	-5
1 ~ 4 人	-15	-14		-14	-6
5 ~ 9 人	12	9	(::)°	14	16
10~19人	18	23	(î, î, î	18	20
20~49人	26 /	35	(n n) A	31	42
50~99人	43 /	58		57	49
100~300人	24 🖟	25		4	28

(小数点第1位四捨五入)

不動産業

有効回答企業数 579先





業況、8年ぶりにプラスに転じる。

-- 「都心」「副都心」「多摩」大きく好転 --

今期

業況はわずかにプラスに転じた。売上額は大きく水面下を脱し、収益は幾分良化した。

価格面では、販売価格はかなり上昇し、仕入価格は前期並の高い水準が続いた。資金繰りは若干容易になり、 在庫は前期並の不足感が続いた。

経営上の問題点では、上位に変動がなく、「同業者間の競争の激化」(42%)、「商品物件の不足」(33%)、「売上の停滞・減少」(24%)の順となった。

重点経営施策も上位に変動がなく、「情報力を強化する」(50%)、「販路を広げる」(34%)、「宣伝・広告を強化する」(29%)の順であった。

来期見通し

来期の業況は、今期同様変化がないものとみている。 売上額は今期同様の増加が続き、収益は増加基調が一 服すると予想している。

価格面では、販売価格は上昇が弱まり、仕入価格は今 期並の高い水準が続くと予想している。

<------業種別·規模別動向 ·····->



業種別に見ると、「建売・土地売買」は前期並の良好感が続き、「不動産代理・仲介」は前期同様変化なく推移した。

来期は、「建売・土地売買」は今期同様の水準で推移し、「不動産代理・仲介」は業況感が落込むものとみている。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「5~9人」規模はやや良化し、「1~4人」規模は水面下ながら上向いた。一方、「10~29人」規模はわずかに弱含んだ。

来期は、「5~9人」規模は軟調に推移すると予想している。



地域別に見ると、「都心」「副都心」「多摩」は大きく好転し、「北部」は幾分明るさが見えた。一方、「西部」は大幅に水面下に落込み、「都心近接」はかなり厳しさを増した。

来期は、「副都心」は堅調に推移し、「西部」は明るさが 見える一方で、「東部」は水面下に落込み、「北部」は低 調感を強めると予想している。

中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業種別	前期の業 況	今期(り業況	今期 予想	来期予想
業種合計	-0.7	1.3	(1.1)B	-0.4	0.0
建売·土地売買	3 /	4	(1.1)B	6	5
不動産代理 ・ 仲 介	-1	0	(::)B	-2	-3
1 ~ 4 人	-9	-7	(-:-)°	-8	-7
5 ~ 9 人	11	16		8	10
10~29人	17	15		19	15
30~300人	39	28		17	28
都 心	<u>-4</u> ∤	9	(1.1)B	-4	4
副 都 心	-2	8	(1.1) B	-3	10
都 心 近 接	-3	-10	(::)°	-8	_9
東部	1	0	(1.1) B	2	
西 部	7	-3	(-:)°	5	-1
南 部	-11	-6	(-:-)°	-2	-15
北部	-4 /	0	(1.1) B	-2	-5
多摩	-1	5	(1.1)B	1	5

(小数点第1位四捨五入)

製造業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①円安による大手メーカーの国内回帰の影響により、若干受注が 増加している。 (油圧シリンダー部品、江戸川区、5名)
- ②自動車関連により業況良好であったが、今夏、中国景気が一時低迷したことにより受注がなくなる事象が起きた。今後、受注分散を検討中。 (プレス金型、葛飾区、3名)
- ③当社取扱いの高級紳士靴について、百貨店の中心顧客である 高所得帯の消費意欲が高くなっている。(紳士靴、足立区、3名) ④現在は国内中心ではあるが、長期的計画において海外販売を
- 予定している。 (レーザー測定器、練馬区、16名) ⑤当社は曲面に印刷する技術に優れており、他社で断られた案件が入ってくる傾向がある。(シルクスクリーン印刷、荒川区、13名)
- ⑥大量生産品との競争が激化しているが、技術には定評があり 受注も堅調。 (木造家具、豊島区、3名)
- ⑦Web等での紹介記事等にて、新規の顧客増加。

(豆腐、港区、4名)

- ⑧不採算部門を閉鎖して収益を改善。また不動産の有効活用を 今後検討してさらに収益傾向を上向きにする。
- (自動ドア・電子機器、品川区、139名) ⑨ベトナムなどの海外事業所の仕事が好調で、来年の見込みではあ
- るものの成長可能性は高い。(プラスチック金型、八王子市、23名) ⑩自動車メーカーより、追突防止システムや排ガス規制に関連するデータ測定の需要が多く、今後の受注増加に期待。

(測定装置、国分寺市、4名)

- ①業況に関しては、取引先を中心に受注は好調維持。人件費が多くなり、原価率が上がっているため、今後気を付けていきたい。 (電気機械、世田谷区、112名)
- ②従業員の高齢化が進んでおり、若い従業員をここで採用する。 工業高校との付き合いが確立できている。

(航空機部品、羽村市、54名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①受注量はそれほど変化はないが、取引先の注文(要望)が細かく、対応が難しくなってきている。(婦人服、江戸川区、5名)
- ②円安効果による株価上昇を背景に、大手企業からの受注は安定しているが、中国経済の不安、テロなどの要因により、今後経済がどのようになるのか不安である。
- (マイクロエレクトロニクス実装装置、大田区、95名) ③大企業に比べ中小企業に不利な点は、まず第一に人材の確保が困難であるということ。 (印刷、板橋区、16名)
- ④主要取引先からの受注減の傾向が始まっている。単発受注が増加しており、技術向上には役立つが残業時間の増加につながり効率性が低下している。 (金属部品、目黒区、4名)
- ⑤景気に左右される業種であり、消費税増税は間違いなく業績 悪化につながると思う。 (ハンドバッグ、葛飾区、3名)
- ⑥ここ最近は忙しい日が何日か続くも、納品に時間のない注文が 多いため、利益はさほど増えていない。 (印刷、墨田区、5名)
- ⑦残業も増えているが、利益の増加につながっていない。複雑な 仕事が増え、手間がかかっているだけ。

(非鉄金属加工、江東区、15名)

- ⑨客先からのコスト見直しと最低賃金上昇の板挟みをどう解決していくかがテーマの一つ。 (電子制御装置、八王子市、8名)
- ⑩売上が伸びない中での人件費高騰は厳しい面がある。全体的な景気回復が望まれる。 (電気機械器具、三鷹市、15名)
- ①デフレ脱却を標榜してスタートしたアベノミクスだが、我々の業界では相も変わらず安値競争が続いており、利益率の確保が思うように進んでいない。 (オーディオ関連グッズ、西東京市、6名)
- ②最近、新しい取引先からの依頼が増加しているが、価格面の 条件が厳しく受注できない状況で、引き続き厳しい業況である。 (段ボール、調布市、7名)
- ③ここ数年は小ロットでの注文が多く、納期も短いので、それに合わせるのが大変。 (メッキ加工、荒川区、10名)

8

卸売業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①価格交渉に応じてもらえた先もあり、今後も根気強く交渉していく。 (砂利、立川市、2名)
- ②利益率の高いインターネット販売が好調。来期も利益計上が見 込まれる。 (食品、東村山市、5名)
- ③景気は良くなってきていると感じる。今後も安定した売上が見 込める。 (業務用ゴルフ機器、世田谷区、13名)
- ④建築資材の需要は多く、良質な商品を提供し続けたい。
- (建築資材、国立市、147名) ⑤東京オリンピックの開催による直接的な影響は感じないが、大手 企業がオリンピックに係る受注への対応に追われているため、中 小企業にも発注がまわってくるようになった。(木材、練馬区、6名)
- ⑥多摩産木材の知名度が上がっており利用客も増加している。 一般建築の取扱い件数が伸びてこないので、新築着工数の 増加を期待している。 (木材、あきる野市、13名)
- ⑦工務店部門で仕入先を変更したため、今期は収益性が高まる 見通し。また、営業に力を入れており大幅な業況改善を見込ん でいる。 (材木建材、中央区、18名)
- ⑧仕入価格が高騰しているが、在庫をうまく調整できているため 利益率は改善されている。 (雑穀、葛飾区、3名)
- ⑨海外中心に販路を拡大している。(ネックレス部品、葛飾区、33名)⑩マイナンバー制度への対応は、担当の税理士と密に連絡をとっているため問題ない。(生地織物、葛飾区、2名)
- ①毎月、従業員全員に対して損益計算書による会社の実績を公開している。会社の実情を共有した上で、全社員で会社を良くしていけるように取組んでいる。(油圧・空圧機器、八王子市、12名)
- ②自社の営業人員を減らし、販売代理店へのサポートを強化している。その結果、売上は増加し、収益も改善されている。

(LED照明、中央区、1名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①仕入価格の高騰による粗利の低下を価格に転嫁できていない ことが今後の課題となっている。 (食肉、国分寺市、15名)
- ②取引条件において、大手仕入先や販売先に強く出られない状況は変わらない。 (衣服、中央区、23名) ③中国の製造業の失速により、原材料のニーズが縮小し、売上が
- 減少した。 (鋼材、練馬区、19名) (乳費者の安い物を求めるマインドは強く、デフレからの脱却はま
- (4) 消貨者の安い物を水めるマイントは強く、アブレからの配却はまだまだ先と感じる。 (惣菜、八王子市、17名)
- ⑤好景気と言われているが、その影響が中小企業まで波及して いるかどうかは不透明なところがあるように感じている。
 - (建築資材、大田区、4名) すい。他業界も含め、全体的に
- ⑥パチンコ業は景気に左右されやすい。他業界も含め、全体的に 景気が良くなれば売上増が見込める。
- (パチンコ店向け景品、足立区、2名) ⑦インターネット販売にお客様が流れており、衣料品の小売は低 迷している。他分野の事業に力を入れ売上増加を図っている。
- (衣料品、大田区、3名) ⑧既存取引先からの受注の対応に追われ、新規の販路を開拓 するといった営業面での活動を行えていない。
 - (建設資材、北区、4名)
- ⑨ゲームセンターの業況はスマートフォンの無料ゲームの台頭により悪化しており、今後の売上についても減少が見込まれる。 (ゲーム機、大田区、20名)
- ⑩マイナンバー制度の対応はあまり進んでいない。今後、税理士 に相談し、対応を進めたい。 (菓子、荒川区、4名)
- ① 更なる円安とTPPによる競争激化で、既存の事業では生き残れないので、今期はメニュー開発、食材開発のコンサルタントビジネスに取り組んでいる。 (食肉、港区、4名)
- ⑫TPP発効に伴い、輸入肉との競合を懸念している。

(精肉、清瀬市、5名)

③10%への消費税増税は、売上減少の大きな要因になるのでは と懸念している。 (包装資材、八王子市、4名)

小 売 業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

①販売のみならず、スクールの開催やペットのプロダクション部門を立ち上げ、事業の向上を図っている。

(ペット用品、荒川区、8名)

- ②商品の品質には自信があり、若年層の女性を中心に新規顧客を増やしている。 (パン、杉並区、3名)
- ③「包丁研ぎ」の技術に定評があり、固定客を中心に営業している。 (包丁、葛飾区、2名)
- ④良い立地条件を活かし、景気に左右されることなく売上は順調である。 (コンビニエンスストア、港区、3名)
- ⑤経済が上向いてきたことで、輸入車販売も少しずつ回復してきている。また、事業継承も円滑に進んでいる。
- (輸入中古車販売・修繕、府中市、4名) ⑥ガソリン代が下がり、ガソリンを利用する顧客が増え始めている。 (ガソリンスタンド、足立区、1名)
- ⑦口コミ等により、集客力が向上している。併せて、商品券の販売 もあり、売上が増加した。 (日本そば、大田区、7名)
- ⑧販売後のメンテナンス等、アフターフォローをしっかりとしており、 地域での評判も高く、売上は安定的に推移している。

(家電販売·工事、新宿区、2名)

- ⑨店舗改装を実施し、それに伴う集客効果は予想以上である。 大幅に売上が増加した。(コンビニエンスストア、立川市、2名)
- ⑩近隣に大型マンションが完成し、また、同業他店が廃業したこと により、来店客が増加した。 (自転車、三鷹市、1名)
- ①品質で固定客を確保している。 (米類、足立区、2名) ②近隣に大型病院が移転してきたことにより、売上増加が見込める。
- (和菓子製造販売、足立区、1名) ③宅配サービスで青果を販売しているため、固定客がおり業況は
- 安定的に推移している。 (青果、荒川区、2名) (独在庫が過剰になっていたが、什入値の高騰も落着き始めたの
- ④在庫が過剰になっていたが、仕入値の高騰も落着き始めたので、在庫を持たずにコンパクトな経営をしていきたい。

(酒、世田谷区、3名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①固定客が減少する傾向にあるため、広告宣伝等により新規顧客の獲得が必要である。 (呉服、練馬区、2名)
- ②地元高齢顧客を中心にしているが、大型店へ顧客が流れており、売上が厳しい。今後は、高齢者宅を訪問しながらの営業を行っていきたい。 (家電販売・修理、江戸川区、2名) ③代表者が高齢のため、後継者の課題が浮上している。
- (煙草、中央区、1名) ④地元優良企業等の宴会が減少傾向にある。今後はランチメニューを拡大して売上を増やしていきたい。

(飲食、大田区、3名)

⑤円安により、海産物の仕入れが値上がり、収益が厳しくなっている。ランチ営業にてお店のPRを行い、夜の集客に繋げたい。

(寿司、大田区、4名)

- ⑥仕入価格は安値で安定しているものの、競争が激しく売上が伸びていない状況である。 (ガソリンスタンド、足立区、3名)
- ⑦従業員・パートともにマイナンバー対応に苦労している。 (パン・製菓、江東区、10名)
- ⑧小さい店にとって景気回復の兆しが見られないにも関らず、軽減税率の導入に伴うインボイス方式への対応を図ることは困難である。 (スーパーマーケット、八王子市、4名)
- ⑨原材料の値上げ(特にバター・ナッツ類)は厳しかった。クリスマス商戦に向け、同業他社と商品が被るのも厳しい。

(洋菓子製造・販売、武蔵野市、43名) (10)クレジットカードの利用が増えており、収益を圧迫している。

- (化粧品、小平市、2名)
- ⑪先行して仕入を行い、販売する為、どうしても在庫を抱えてしまう。経費を抑えつつ、売上を伸ばす方法を検討している。

(スノーボード・サーフボード等、羽村市、3名) ②セール時には売上が伸びるが、その後に反動があり売上が落ちる。 (園芸、昭島市、4名)

サービス業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①マイナンバー関連の受注が増加。今後の運用開始により売上 増加につながる案件が出てくるかが鍵である。
 - (システム開発、大田区、26名)
- ②大手ホテルへの集会、宴会等への人材派遣は順調に受注を 確保している。 (人材派遣、品川区、4名)
- ③経営環境が厳しい中、自社にてサービスを工夫し、顧客満足度 向上を意識して取組み、固定客をつかんでいる。

(車検·板金、府中市、52名)

- ④大口取引先の店舗統廃合により、その会社による売上は減少したが、別の新規取引先が増えており、逆に利益率が上昇している。 (リネンサプライ、町田市、7名)
- ⑤自動車整備は順調になってきたので、利幅の大きな中古車販売に力を入れればさらに業況改善が見込める。

(自動車整備・販売、八王子市、4名)

- ⑥固定客が多く売上も好調。今後アルバイト等を採用し、効率を 高めていきたい。 (クリーニング、日野市、4名)
- ⑦売上増加店舗と減少傾向の店舗があり、地域の競合店の影響が大きい。店舗別に戦略を見直しており、全体的には改善されつつある。 (クリーニング、葛飾区、7名)
- ⑧2020年のオリンピックで、ゴルフが競技種目として復活する。売上の追い風となることを期待している。(ゴルフ練習場、世田谷区、9名)
- 9外注をせず、社内製作で対応できるデザインの受注が多くなり、売上・収益ともに改善している。

(グラフィックデザイン、中央区、2名)

- ⑩外国人の訪問客が増加しており、うまく取り入れを図りたい。 (ビジネスホテル、豊島区、7名)
- ①業況も良く、車両呼び出しの専用アプリの配信などもしており、 意欲的に新しいものに挑んでいる。(タクシー、三鷹市、140名)
- ②業況は引き続き順調に推移している。高い技術力と専門性が要求される業務のため、人材の育成が課題。

(商業デザイン、新宿区、30名)

③公共事業が縮小傾向にあるものの、道路・トンネルの老朽化が 進み、事業の強みが発揮できる環境となりつつある。

(航空測量・調査、多摩市、10名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①同業者間での競争が激しく、利益の確保が非常に厳しい状況である。 (ビル外壁洗浄・貯水槽洗浄、練馬区、15名)
- ②とにかく人手不足であり、いかにして人手を確保していくかが 大きな課題である。 (保育園、板橋区、36名)
- ③来店客の年齢層が高齢化しているため、来店頻度が低下している。気温が低くなるとさらに来店頻度が低下するのではないかと懸念している。 (美容室、杉並区、8名)
- ④乗務員の歩合率の見直しを進めたいが、歩合率を強気で交渉 してしまうと乗務員が離れるため慎重に行っている。

(タクシー、大田区、175名)

- ⑤主要取引先が内製化を進めており、売上減少。営業強化し、取引先増加を図る。 (特許申請、港区、12名)
- ⑥経費の大部分を人件費が占めているため、社員が専門知識を 高め、合理化を進める必要がある。

(生損保原因調査、品川区、110名)

- ⑦スポーツクラブや学習塾など、個人経営の事業所が大手に吸収されて取引先が減少している。 (広告印刷、町田市、3名) ⑧売上は上昇しているものの、社会保障関係の経費が上積みさ
- れており、収益はそれほど改善していない。 (人材派遣、八王子市、12名)

⑨売上は例年と比べても大きく変化はないが、利益の確保が厳しくなっている。人件費が特に負担である。

- (ビルメンテナンス、立川市、58名) ⑩駅前の競合が激化しており、大手との差別化を図らなければならない。 (学習塾、日野市、5名)
- ①来店客数が以前に比べて減少傾向にある。個人消費の低下が主要因であるが、売上増加に向けて頑張っていきたい。

(遊技場、目黒区、6名)

②若年層のクルマ離れが進み、将来的な事業の継続が心配になることもある。 (自動車整備、狛江市、6名)

調査員のコメント

建設業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①地域の老朽化に伴う修繕の案件が増えてきており、売上増加 に繋がっている。 (一般建築、練馬区、1名)
- ②元請けからの信頼が厚く、安定した受注がある。
- (土木工事、大田区、92名) ③インターネット経由の受注が主力となっている。そのため、今後 もホームページを充実させ、更なる売上の増加に繋げたい。
 - (リフォーム、中野区、1名)
- ④リフォームによる壁塗り替えの受注が増加している。また、夏か ら秋にかけては、天候が安定しているので、塗装を依頼する企 業が増加している。 (建設・リフォーム、目黒区、7名)
- ⑤自社の保有する技術力を活かした商品企画・製造を継続的に 実施している。 (風呂ガス器具、小平市、18名)
- ⑥介護関係施設の受注が好調である。
 - (建築・リフォーム、東村山市、7名)
- ⑦リフォーム関連の受注が増加している。また、単価が安い案件 も多く施工している。 (アルミサッシ取付、武蔵野市、4名)
- ⑧公園遊具の塗装と並行し、小学校の外装工事も進行しており、 業況は好調である。 (建設塗装、葛飾区、2名)
- ⑨公共の仕事が拡大しており、売上は安定している。
 - (道路工事、荒川区、12名)
- ⑩取引先からの評判が良いため、過去に建築を行った先からリフ ォーム等の受注が入ることがある。 (建築、世田谷区、6名)
- ①公共事業が安定しており、業況は好調である。今後、スポーツ 施設等の建設が活発になってくれば、更に業況が良くなる。 (電気設備、練馬区、22名)
- ⑫情報力の強化を図り、不動産情報を有効に活用している。
 - (建築・リフォーム、立川市、7名)
- ③新築だけではなく、内装工事にも力を入れ、安定した売上を得 ている。 (建設、目黒区、8名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①代金回収が3~5月に集中するため、11月~12月の資金繰りが 厳しくなる。 (水道工事、狛江市、6名)
- ②マンション基礎杭不良に関する事件のあおりを受けている。
 - (建設、江戸川区、24名)
- ③悪天候による工期の延長が多く、代金回収の遅延が発生して いる。 (建設塗装、目黒区、5名)
- ④大手プラントによる大規模な改修工事が続き、受注は増加して いるが、人件費・材料費増により、収益は増加していない。
 - (配管プラント、品川区、5名)
- ⑤従業員を増やした関係やマイナンバー等の新制度対応で忙しい。 (断熱工事、練馬区、30名)
- ⑥オリンピック関連の動きが遅く、受注が増えない。また、途中退職 する職人がいるため、人手が不足している。
 - (土木工事、足立区、20名)
- ⑦ネット広告等からの受注はほとんど望めない。
 - (内装工事、世田谷区、2名)
- ⑧進行中の計画は多々あるが、人材確保が難しい。
- (建設、大田区、2名)
- ⑨社会保険料が年々上がっていることが厳しい。 (ガス配管工事、立川市、34名)
- ⑩商品物件の不足や仕入価格の上昇により、来期も苦戦が予想
- される。 (木造建築、新宿区、46名) ①公共工事が減少しており、競争も激化している。また、人材不 足により、外注依存度が高くなってきている。
 - (電気工事、八王子市、4名)
- 迎材料価格の上昇に加え、消費税増税を控えた顧客の価格意 識が高くなってきており、付加価値の高い仕事をするよう心掛 (建築基礎工事、東大和市、16名)
- ③人材不足により、専門職のオーバーワークが続いている。アウト ソーシングを検討する必要がある。
 - (相談·設計管理·建設、世田谷区、10名)
- ④同業者間の競争が激しく、受注が得づらい状況である。

(建設、江戸川区、3名)

不動産業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①商品の差別化、成約単価向上に取組んでいる。
 - (仲介·管理、大田区、9名)
- ②多少動きが出てきている。春先へ向けて情報を集めていきたい。 (仲介·管理、八王子市、6名)
- ③地元固定客の基盤を確保している。息子2人も後継者として成 (仲介·管理、世田谷区、3名)
- ④オリンピックの影響により不動産取引が活発である。
- (土地·建物売買、練馬区、3名) ⑤積極的に地域の行事に参加しており、地元での知名度を上げ
- (仲介、港区、8名) ている。 ⑥場所柄、同業他社との競争は厳しいが、積極的な営業により売
- 上は一定水準を維持している。 (仲介、港区、1名)
- ⑦不動産業界は活況なので、よく見極めて対応したい。 (不動産、世田谷区、3名)
- ⑧地元固定客を抱えているため、今後も業況の波は少ない見通し
- (仲介、荒川区、3名)
- ⑨賃貸物件の立地条件が良く、安定した収益を確保している。 (賃貸、港区、1名)
- ⑩お客様から信頼を得るためホームページ等を活用し、情報をオ ープンにしている。 (不動産、荒川区、28名)
- ①インターネットを通じた情報発信に注力しており売上増加。
 - (賃貸·管理、杉並区、30名)
- ②高騰していた中野区周辺の不動産価格も秋口から安定してき た。一方で、駅からのアクセスが悪い物件の賃料は若干下落 傾向にある。 (仲介、中野区、21名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①同業者の間では景気が良くなっているという話も聞くが、実感 はない。 (総合不動産、福生市、11名)
- ②商品物件の販売がもう少し好調だと業況も良くなるので、景気 が上向いてほしい。 (建売、日野市、2名) ③不動産取引は活発化してきているが、利幅が少なくなってきて
- (仲介·販売、立川市、3名) ④管理している賃貸物件は、一度空室になるとなかなか次の入
- 居者がみつからない。 (管理、足立区、2名)
- ⑤大家と店子間のトラブルが増えており、対応に苦慮している。入 居者の選定に力を注いでいる。 (管理、世田谷区、2名)
- ⑥地域の不動産業者として、きめ細やかなサービスを提供するこ とで大手不動産業者との差別化を図ることが課題。
 - (仲介、品川区、3名)
- ⑦売買物件は高値推移しており、商品買入額が高いので利益率 が悪化している。また、賃貸物件の入居率が低下している。
 - (土地·建物壳買、練馬区、2名)
- ⑧仕入価格が上昇しているため利幅が縮小している。
- (賃貸·建売、中野区、4名) ⑨同業者間での競争激化により、商品物件の確保に苦慮している。
- (仲介、足立区、30名) ⑩良い物件の情報が少なく、利益が縮小している。空き家問題な
- どこれからの課題は多い。 (売買、新宿区、15名) ①土地価格の高騰により仕入が難しく、在庫不足の状況が続い ている。
- (仲介·販売、小金井市、4名) ②一部の都心のタワーマンションは値上がりしているが、大田区 においては大きな動きはない。地道にオーナーとの信頼を築き、 管理戸数を増加していく。 (仲介·管理、渋谷区、5名)

都内中小企業景況調查

業況、売上額、収益、価格動向

※ 娄	牧値は:	全て著	季節多	变動詞	周整》	斉D.I	値				(予想値)													(予想値)
製	造 業	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	â	即	売 業	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3
業	況	-17.6	-16.8	-16.8	-15.8	-13.9	-13.7	-11.5	-11.1	-10.0		j	業	況	-16.4	-12.9	-17.9	-16.2	-14.4	-12.8	-11.5	-11.2	-9.8	
予	想	-21.0	-11.7	-19.8	-15.3	-14.4	-12.5	-10.0	-10.2	-10.0	-6.5	=	7	想	-16.8	-5.1	-17.9	-12.6	-12.7	-12.3	-8.9	-8.7	-8.1	-7.6
売	上額	-12.7	-9.9	-10.6	-9.1	-8.1	-8.5	-6.3	-5.7	-5.9		5	売 .	上額	-9.7	-4.9	-10.2	-8.5	-8.3	-7.1	-5.2	-5.3	-5.6	
予	想	-13.6	-5.4	-13.6	-8.6	-7.4	-7.4	-4.1	-3.0	-4.2	-1.9	=	7	想	-8.4	2.9	-12.9	-6.1	-6.1	-4.7	-4.5	-0.8	-0.2	-0.8
収	益	-15.6	-13.3	-14.7	-12.3	-11.4	-11.6	-9.2	-9.5	-9.9		Ц	又	益	-13.7	-10.2	-15.0	-13.7	-13.8	-10.6	-9.8	-8.2	-8.4	
予	想	-17.5	-9.6	-16.6	-12.4	-10.9	-11.4	-8.3	-6.9	-7.3	-5.3	=	了	想	-12.1	-2.7	-15.7	-9.5	-10.1	-10.6	-7.6	-6.1	-3.2	-4.1
販売	も価格	-5.0	-4.2	-3.7	-3.3	-2.1	-2.7	-2.0	-1.8	-2.5		Į	販売	価格	2.7	3.4	4.6	3.1	9.2	7.0	3.8	5.9	5.6	
予	想	-7.4	-2.9	-2.8	-2.9	-2.6	-2.0	-3.0	-1.6	-1.3	-1.7	=	7	想	2.1	6.2	4.2	4.5	3.5	9.1	4.2	4.0	3.8	5.0
原材	料価格	22.6	22.2	21.9	22.8	28.5	23.9	21.5	19.9	16.5		1	生入	、価格	24.3	24.5	23.1	23.9	30.8	25.0	21.3	22.9	21.2	
予	想	18.5	21.5	19.7	18.0	19.2	25.0	17.3	17.1	17.0	14.9	=	}	想	20.0	24.6	24.0	18.3	21.2	28.2	19.3	20.2	17.0	18.3

												(予想値)													(予想値)
小	売	業	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	サー	ビス	業	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3
業		況	-30.0	-30.0	-30.9	-31.4	-30.4	-29.0	-26.6	-26.7	-25.3		業	3	況	-13.9	-13.3	-16.5	-16.3	-16.2	-14.4	-13.5	-13.5	-12.2	
予		想	-33.2	-25.8	-33.5	-28.6	-29.4	-28.9	-27.1	-25.3	-25.9	-23.9	予	7	想	-17.4	-7.2	-14.3	-13.2	-12.3	-12.8	-13.8	-13.9	-12.1	-8.7
売	上	額	-23.7	-21.2	-24.5	-25.2	-24.6	-23.2	-20.4	-21.6	-19.2		売	上著	額	-10.8	-9.4	-12.5	-11.9	-13.0	-9.6	-8.2	-8.9	-7.8	
予		想	-25.7	-18.4	-26.5	-22.3	-22.7	-21.8	-18.8	-18.6	-20.2	-17.4	予	7	想	-9.7	-4.0	-9.7	-7.4	-6.8	-8.4	-9.1	-8.2	-6.6	-3.3
収		益	-26.8	-22.6	-27.2	-27.4	-25.9	-25.0	-23.3	-23.0	-21.1		収	i	益	-11.9	-11.6	-14.8	-15.2	-14.7	-10.9	-10.7	-10.0	-9.2	
予		想	-26.3	-21.2	-27.7	-24.3	-24.3	-22.9	-20.3	-20.7	-21.2	-18.6	予	7	想	-12.3	-5.7	-13.2	-10.2	-9.6	-11.1	-10.9	-10.9	-8.2	-5.1
販	売価	格	-1.9	-2.1	4.2	1.4	3.8	0.8	-0.9	-0.3	1.6		料金	全価相	格	-1.8	-1.1	3.6	0.4	1.7	0.7	-1.6	-0.7	-0.7	
予		想	-4.2	0.2	2.3	0.7	-1.3	2.6	-0.6	-1.3	-0.8	1.9	予	7	想	-4.1	-0.2	1.2	2.5	-0.2	0.4	-1.2	-2.0	-1.5	0.0
仕	入価	格	13.3	12.9	18.6	15.6	18.8	15.0	15.1	14.2	14.3		材米	斗価	格	17.4	16.0	19.8	17.5	21.9	14.5	13.4	13.7	11.4	
予		想	9.3	12.8	15.8	13.0	11.5	16.1	11.7	12.7	12.1	11.6	予	7	想	16.3	17.2	17.1	16.6	14.3	18.2	10.2	11.1	11.3	10.1

												(予想値)												(予想値
建	設	業	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	不動	か 産 業	25/12	26/3	26/6	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3
業		況	3.5	8.7	6.8	8.3	9.5	6.3	8.0	6.6	8.9		業	況	-0.4	-5.0	-3.2	-4.2	-3.1	-2.1	-0.5	-0.7	1.3	
予		想	-0.6	9.6	3.6	6.8	9.7	7.6	9.1	8.7	7.8	13.5	予	想	-6.2	2.5	-7.8	-2.6	-3.7	-5.3	-3.0	1.1	-0.4	0.0
売	上	額	9.9	15.1	10.7	12.2	10.3	8.5	11.2	8.2	9.2		売	上額	-0.6	-4.2	-0.7	-3.4	-2.2	-1.6	0.3	-0.6	5.0	
予		想	3.3	14.6	5.8	9.3	10.4	9.8	9.9	10.5	9.5	12.3	予	想	-3.8	4.5	-6.2	0.9	-0.7	-0.4	2.0	2.3	2.5	4.1
収		益	-0.5	4.7	0.4	2.4	3.5	1.3	6.6	2.5	3.0		収	益	-1.8	-3.7	-1.4	-3.0	-2.6	-1.8	-1.5	0.1	4.5	
予		想	-4.2	3.3	-0.7	-0.9	2.2	3.5	2.9	4.7	2.8	4.5	予	想	-4.7	2.8	-6.3	-2.3	-1.2	-2.8	-0.1	-1.3	1.4	0.4
請1	負価	格	2.1	5.7	6.2	7.2	7.9	4.7	4.9	5.1	7.1		販売	価格	2.5	0.1	0.4	0.7	2.1	3.1	2.5	2.3	7.5	
予		想	-1.1	4.5	4.3	5.6	6.5	7.2	6.0	2.8	4.2	6.4	予	想	-4.7	4.7	-0.9	-0.4	2.2	3.2	3.5	1.6	4.0	5.7
材	料価	格	38.2	38.2	38.6	42.2	46.8	41.3	33.3	33.4	31.8		仕入	価格	13.7	13.5	16.9	15.3	18.0	14.5	14.5	15.3	16.2	
予		想	29.7	36.5	35.0	33.1	38.7	42.0	31.8	27.3	30.1	27.0	予	想	9.9	15.2	13.6	15.0	17.7	15.3	14.7	12.6	14.2	15.5

330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 330 | 3

特別調査「平成28年の経営見通しについて」

(平成27年12月 L 旬調查)

①平成28年の日本の景気

『良い』が2.0増え12.6%、『悪い』が12.6減り40.3%

②平成28年の自社の業況 『良い』が2.4増え14.3%、『悪い』が8.3減り34.4%

③自社の売上額の対前年比 『増加』が2.7増え24.4%、『減少』が6.0減り23.9% ④自社の業況が上向く転換点

『短期』30.6%、『中期』20.6%、『長期、見通し立たず』48.8%

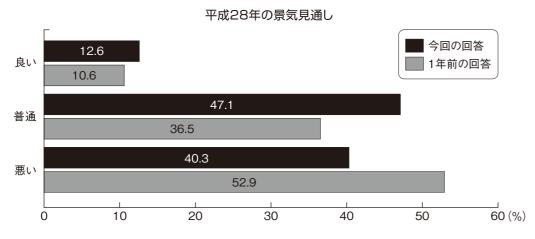
⑤マイナンバー制度への 対応度合い 『対応できていない』65.0%

対応度合いと相談相手 相談相手 『弁護士・税理士・社労士等の専門家』45.0%、『取引先金融機関』20.5%

問1. 平成28年の日本の景気見通しについて

都内の中小企業を対象に平成28年の経営見通しについて調査したところ、「非常に良い | 「良い | 「やや良い | を合わせて 『良い』とした企業は前年調査の10.6%を多少上回る12.6%で、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」を合わせて『悪い』とした企 業は前年調査の52.9%から12.6ポイント減少し40.3%であった。なお、「普通 | は47.1%(前年36.5%:以下、括弧内は昨年の数 値)であった。平成28年の日本の景気見通しは、わずかながら前年調査より明るさが見える結果となった。

(注) 『良い」は「非常に良い」「良い」「やや良い」の和。『悪い」は「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の和。

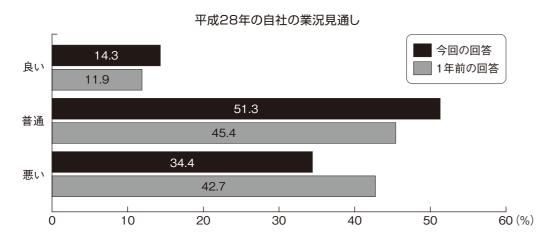


業種別に見ると、『良い』とする企業は「建設業 | 21.9%(17.3%)が最も高く、「小売業 | 8.0%(6.1%)が最も低く、全業種で前 年調査を上回る結果となった。『悪い』は高い順に「小売業」47.6%(61.9%)、「製造業」42.6%(53.3%)、「卸売業」39.6% (54.0%)、「サービス業」39.2%(52.0%)、「建設業」29.8%(40.1%)、「不動産業」28.2%(43.3%)、となっており、いずれの業種 においても10ポイント以上減少した。

従業者規模別で見ると、『良い』とする企業は「100~199人 | 規模27.8%(18.1%) が最も高く、「1~4人 | 規模8.0%(7.0%) が 最も低く、「40~49人 | 規模以外は前年調査より増加している。一方、『悪い』とする企業は、「1~4人 | 規模48.0%(60.1%)が最 も高く、「100~199人 | 規模18.9%(33.3%)が最も低く、全規模において前年調査より減少している。

問2. 平成28年の自社の業況見通しについて

自社の業況見通しでは、「非常に良い | 「良い | 「やや良い | を合わせた 『良い』と回答した企業は14.3%で、前年調査の11.9% から2.4ポイント増加している。反対に、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」を合わせた『悪い』と回答した企業は34.4%で、前年調 査の42.7%から8.3ポイント減少している。「普通」は51.3%で、前回調査の45.4%から5.9ポイント増加している。前年調査より『良 い|「普通|が増加]、『悪い|が減少しており、平成28年の自社の業況は前年調査を上回る見通しとなった。



業種別に見ると、『良い』とする企業は「建設業」25.4%(20.9%)、「卸売業」17.5%(14.4%)をはじめ、5業種で前年調査を上 回った。唯一、「不動産業」16.3%(16.8%)は前年調査を下回った。『悪い』とした企業は割合が高い順から「小売業」44.6% (55.5%)、「製造業 | 35.3%(42.8%)、「サービス業 | 33.4%(40.5%)、「卸売業 | 32.8%(42.8%)、「建設業 | 23.0%(28.0%)、「不 動産業 | 20.4%(28.9%)となり、全6業種ともに前年調査を下回った。

従業者規模別で見ると、『良い』とする企業は「200~300人 | 規模38.5%(23.1%) が最も高く、「1~4人 | 規模7.4%(5.9%) が 最も低く、「40~49人 | 規模以外は前年調査より増加している。一方、『悪い』とする企業は、「1~4人 | 規模44.0%(53.4%)が最 も高く、「100~199人」規模12.4%(16.7%)が最も低く、全規模において前年調査より減少している。

問3. 平成28年の売上額対前年比伸び率について

売上の『増加』を予想している企業は24.4%となり、前年調査の21.7%より2.7ポイント増加した。「変わらない」は51.6%と、前 年の48.4%同様半数程度の企業から回答があった。『減少』を予想している企業は23.9%で、前年調査の29.9%より6.0ポイント 減少している。その結果、平成28年の売上額対前年比伸び率については、わずかながら上向くものの、前年に比べ大きな変化 は見られない。

今回の回答 24.4 増加 1年前の回答 21.7 51.6 変わらない 48.4 23.9 減少 29.9 10 20 30 50 60 (%) ※回答により100%にならないこともあります。

平成28年の売上額伸び率見通し

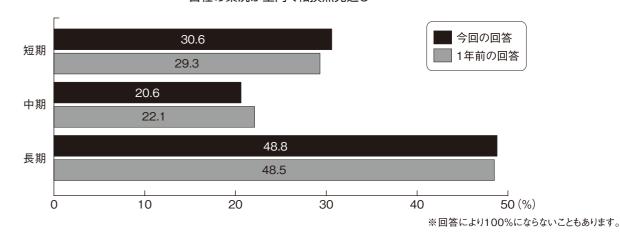
業種別に見ると、『増加』を予想する企業は「建設業」36.8%(35.0%)、「不動産業」30.1%(26.3%)、「卸売業」29.4% (26.3%)が他業種より高い。一方、『減少』の回答割合は「小売業」31.1%(39.3%)のみ3割を超えている。なお、「小売業」は 『増加』の回答が14.4%と最も低く、6業種の中で最も厳しい状況であることがうかがえる。

従業者規模別では、「40~49人 | 規模を除いて規模が大きいほど 『増加』を予想する割合が高まる傾向となっている。

問4. 自社の業況が上向く転換点

自社の業況が『短期』(「既に上向いている」「6ヶ月以内」「1年後」の和)で上向くと予想する企業は30.6%で、前年調査の 29.3%から1.3ポイント増加している。『中期』 (「2年後 | 「3年後 | の和)とする企業は20.6%で、前年の22.1%から1.5ポイント減少 している。『長期』(「3年超」「業況改善の見通しは立たない」の和)とする企業は48.8%で、前年の48.5%から0.3ポイント増加し ている。

自社の業況が上向く転換点見通し



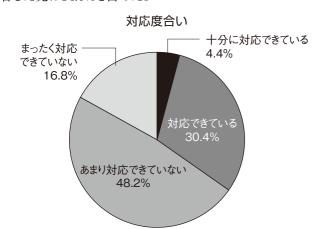
業種別に見ると、『短期』で上向くとみる割合が高いのは、「建設業」43.7%(44.0%)、「卸売業」38.0%(35.6%)、「不動産 業」37.0%(33.5%)の順であった。『中期』については、「不動産業」23.7%(26.9%)に続き「卸売業」23.2%(25.1%)の割合が 高かった。『長期』については、「小売業」63.3%(62.7%)と前年同様6割を超えており、その中でも特に「改善の見通しは立たな い とした企業は49.3%(49.5%)と厳しい業況であることがうかがえる。

従業者規模別では、39人以下の規模については、規模の大きい企業ほど『短期』で業況が上向くと予想する割合が高く、規 模が小さくなるほど業況が上向くまで『長期』の時間を要するという割合が高くなっている。特に「1~4人」規模は『長期』の時 間を要するとの回答が64.4%(62.1%)と6割超であり、その中でも「改善の見通しは立たない」とした企業は50.2%(49.4%)とほ ぼ半数であった。

問5. マイナンバー制度への対応と相談相手

平成28年1月のマイナンバー制度の運用開始にあたって、同制度への対応度合いと準備に関する相談相手について調査した。 対応度合いについて、「十分に対応できている」4.4%、「対応できている」30.4%、「あまり対応できていない」48.2%、「まったく 対応できていない」16.8%と、6割以上が同制度への対応に苦慮していることがうかがえる。

また、相談相手について、最も多かった回答は「弁護士・税理士・社労士等の専門家」45.0%であり、「取引金融機関」20.5%、 「自社で対応(相談しない)」12.1%、「国・自治体・行政機関等」5.4%、「システム業者」2.1%の順であった。なお、「わからない」と 回答した先は14.6%を占めた。



相談相手 わからない 取引金融機関 14.6% 20.5% 自社で対応 (相談しない) 国·自治体· 12.1% 行政機関等 5.4% 弁護士·税理士· システム業者 社労士等の専門家 45.0% 2.1% ※回答により100%に ならないこともあります。

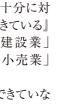
業種別に見ると、対応度合いで、「不動産業」は「十分に対 応できている」「対応できている」を合わせて『対応できている』 の割合が40.7%と最も高く、「卸売業 | 40.0%、「建設業 | 37.5%、「製造業」36.1%、「サービス業」35.2%、「小売業」 26.8%と続いた。

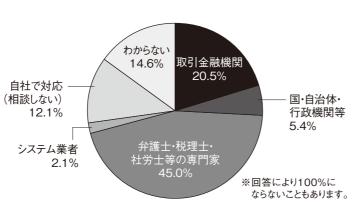
反対に、「あまり対応できていない」「まったく対応できていな い」を合わせた『対応できていない』の回答割合が最も高かっ たのは「小売業 | 72.8%、最も低かったのは「不動産業 | 59.0% であった。

次に、相談相手について全ての業種で最も回答割合が高い のは「弁護士・税理士・社労士等の専門家」、次いで「取引金融 機関」となっており、上位2つは全業種共通であった。なお、「小売 業」は「わからない」の割合が21.2%と他の業種に比べて最も高 く、このことからも十分な対応が図れていないことがうかがえる。

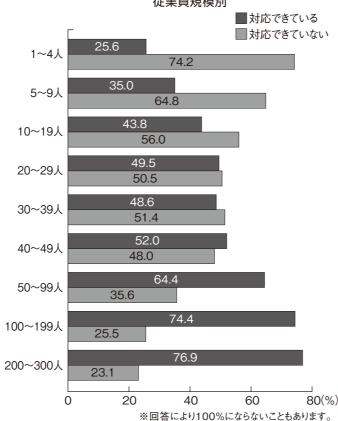
従業者規模別では、対応度合いについて、『対応できてい る』の回答割合は、規模が大きくなるにつれ上昇する傾向が 見られ、100人以上の規模については7割を超えている。反対 に、『対応できていない』の回答割合は、規模が小さくなるに つれ、上昇する傾向で「1~4人 |規模では7割を超えた。

相談相手については、「弁護士・税理士・社労士等の専門 家」が全ての規模で最も高かった。なお、9人以下の規模は 「取引金融機関」と回答した割合が他の規模よりも高かった。 また、9人以下の規模では「わからない」と回答した割合につ いても、他の規模より高い傾向が見られた。









全国の景況

全国の中小企業の景況は、前期(7-9月期)と比較して、北海道、東海地区を除く9地区で上向いた。

業種別では、製造業、卸売業、サービス業、建設業において改善が見られた。

各業種別で、前期に比べ大幅に改善した地域は

製 造 業:北海道、東北、北陸、北九州、南九州 サービス業:近畿、中国

卸 壳 業:東北、首都圏、中国、北九州 建 設 業:関東、首都圏、北陸、四国、南九州

小 売 業:東北、中国

			東	全	北海	東	関	首都	北	東	近	中	四	北九	南九
			京	玉	海道	北	東	圏	陸	海	畿	玉	玉	州	州
全業	種合計	(DI)	-10.7	-5	-7	-10	-7	-6	1	-8	-4	-1	-4	2	2
製	造	業			(i)		£:}°	(i)*	(::)°	(i)	(1)	(i)			(::)°
卸	売	業			(i)			(i)*	(i)	1:1 ^E	(i)	(ii)°			
小	売	業							(i)	1:1 ^E					
サ-	ービフ	く業					(1:1)°			(i)		(;;) 	(i.i.)		
建	設	業	(i.i.)			(::)	(T::)°	:: B		(::)°	7::	(1.1)°	(::)	% :: }	(; ;) B
不	動産	業	(;;) B	(;;) B	(::) ^B	(;;) B	(1.1)B	(1:1) ^B	(î,î)A	(::)B	(::)B	(::)B	(î î	A CARACTER OF THE PARTY OF THE	(::)°

(注)業種別の景況感を地域別に比較して作成してあります。

データは信金中央金庫が調査したものを使用し、一般社団法人東京都信用金庫協会が作成しております。

日銀短観

[業況判断]

(「良い」ー「悪い」・%ポイント)

~//	רו שבו טי				(120] [200] 70:3: [21]					
			2015年	9月調査		2015年1	2月調査			
			最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅		
大	企	-	業							
大製非全中	造	業	12	10	12	0	7	-5		
非	製 造	業業	25	19	25	0	18	-7		
全	産	業	19	14	18	-1	13	-5		
中	堅	企	業							
製	造	業	5	4	5	0	0	-5		
非	製 造	業	17	13	19	2	12	-7		
全	産	業	12	9	14	2	8	-6		
中	小	企	業							
製	造	業	0	-2	0	0	-4	-4		
非	製 造	業	3	1	5	2	0	-5		
全	産	業	3	0	3	0	-2	-5		
全	規模		計							
製	造	業	5	7	4	-1	1	-3		
製非全中製非全全製非全	製造	業	10		13	3	7	-6		
全	産	業	8	5	9	1	3	-6		

(参考/事業可画の削減となりといる芯定局管レード(人正素・教垣素)										
	2014年	度		2015年						
		上期	下期		上期	下期				
2015年6日国本	100 06	102 17	11/120	115.62	115 50	115.65				

|2015年6月調食|108.96|103.1/|114.29|115.62|115.59|115.65 2015年9月調査 - 117.39 117.50 117.28 - | -2015年12月調査 - |119.40 |120.84 |118.00 |

調査対象企業数

(2015年12月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	4,462社	6,509社	10,971社	99.6%
うち大 企業	1,091社	1,043社	2,134社	99.6%
中堅企業	1,181社	1,877社	3,058社	99.4%
中小企業	2,190社	3,589社	5,779社	99.6%
金融機関	_	_	197社	98.5%

<回答期間>11月11日~ 12月11日

(注) 1.回答率=業況判断の有効回答社数/調査対象企業数×100

(会平) 車巻計画の益担した でい 7 相合五井1 1 (十人巻 制生巻

1回号子子本化内間のイが回号は必い両上が多に本致へ100 2判断項目において、最近」は回答時点を、先行き)は3か月後を示す。「最近」の変化幅は、前回 調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比(以下同じ)。

[売上高·収益計画]

(前年度比・%)

		2014年度		2015年度	
			修正率	(計画)	修正率
	製造業	1.3	_	-0.3	-1.1
	国内	-0.6	_	-1.8	-1.7
大 企 業	輸出	5.9	_	3.4	0.2
	非製造業	0.5	_	-1.6	-1.7
	全産業	0.8	_	-1.1	-1.5
	製造業	1.9	_	1.6	0.0
中堅企業	非製造業	0.2	_	0.8	-0.3
	全産業	0.6	_	1.0	-0.2
	製造業	1.2	_	0.1	-0.3
中小企業	非製造業	0.0	_	-0.5	0.0
1 3 112/10	全産業	0.2	_	-0.4	0.0
	製造業	1.4	_	0.1	-0.8
全規模合計	非製造業	0.3	_	-0.7	-0.9
	全産業	0.6	_	-0.5	-0.8

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

[需給·在庫·価格判断]

(%ポイント

「中心」工作。而少	רושנדם					()	0/1/1/
		2015年	9月調査		2015年1	12月調査	
中小企業		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・ サービス需給判断 (「需要超過」ー 「供給超過」)	製造業 うち素材業種 加工業種 非製造業	-23 -30 -17 -19	-24 -30 -20 -20	-24 -31 -20 -19	-1 -1 -3 0	-26 -31 -21 -20	-2 0 -1 -1
海外での製商品需 給判断 (「需要超過」— 「供給超過」)	製造業 うち素材業種 加工業種	-14 -21 -10	-16 -23 -12	-17 -24 -12	-3 -3 -2	-16 -24 -12	1 0 0
製商品在庫 水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業 うち素材業種 加工業種	14 18 11		14 17 12	0 -1 1		
製商品流通在庫 水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業 うち素材業種 加工業種	20 26 14		20 28 14	0 2 0		
販売価格判断	製造業 うち素材業種 加工業種 非製造業	-6 -4 -9 -5	-9 -5 -12 -2	-9 -8 -10 -5	-3 -4 -1 0	-11 -9 -13 -3	-2 -1 -3 2
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業 うち素材業種 加工業種 非製造業	22 17 26 18	24 19 27 25	14 9 18 16	-8 -8 -8 -2	19 15 20 21	5 6 2 5

東京都11月の企業倒産

1.概況

東京都内の企業倒産は160件発生した。負債額の合計は569億円であった。前月対比では、件数が6件、負債額が347億円増加した。また、前年同月対比では、件数が18件、負債額が171億円増加した。

					((単位:件・億円)	
		T-1000 - 110	T-10-5-0-5	T-Do= 5			
		平成26年11月	半成2/年10月 	半成2/年11月	前月比	前年同月比	
件	数	142	154	160	6	18	
金	額	398	222	569	347	171	

2.原因別倒産動向 (単位:件・億円 千万円以下は切捨で) 放漫経営 過少資本 他社倒産の余波 既往のしわよせ 販売不振 6 72 2 5 18 311 14 30 116 142 売掛金等回収難 信用性低下 在庫状態悪化 設備投資過大 その他 1 0 0 0 0 0 0 3 6

3.	≹種·規模別倒産!	動向		(単位	立:件•億円)			
			件 数		金 額			
		前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月	
	製造業	12	18	20	3	30	40	
	卸売業	31	46	27	60	84	37	
	小売業	6	24	18	3	19	12	
	サービス業	7	6	7	118	6	4	
	建設業	25	14	23	42	13	18	
	不動産業	5	6	8	4	28	4	
	情報通信業·運輸業	22	16	23	67	23	18	
	宿泊業・飲食サービス業	8	6	5	3	1	2	
	その他	26	18	29	94	13	428	
	合計	142	154	160	398	222	569	

※金額の億円未満は切り捨て表示の為、合計と一致しない。

4.地域別倒産動向

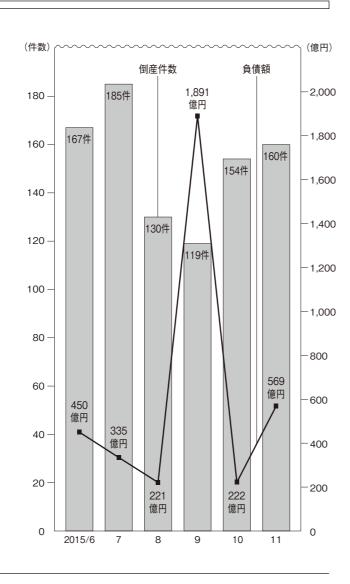
地区別の倒産件数は、港区が19件(負債額:約122億円)発生して最も多く、次いで中央区・渋谷区がそれぞれ10件(同約11億円、約10億円)発生している。

5.大口倒産動向

当月の主な大口倒産は、以下の通り。

企業名	所在地	業種	負債総額
(株)オプティファクター	品川区	診療報酬債権ファクタリング	約69億円

(注) データは東京都産業労働局「東京の企業倒産状況」((株)東京商工リサーチ調べ)を使用し、 一般社団法人東京都信用金庫協会が作成しております。



●スポット君判断表 業種別定点指標値

			, , , A	:: B	(: ·)¢	:: P	E CO		G
製	造	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
卸	売	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
小	売	業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下
サ・	ービス	、業	15以上	14~5	4~△5	△6~△15	△16~△25	△26~△35	△36以下
建	設	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
不	動産	業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下

好調 不調

※上記マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断します。

●地域区別表

都 心	千代田区・中央区・港区	副都心	新宿区・文京区・渋谷区・豊島区
都心近接	台東区・荒川区・墨田区	東 部	江東区・足立区・葛飾区・江戸川区
西部	杉並区・世田谷区・中野区	南 部	大田区・品川区・目黒区
北 部	板橋区・練馬区・北区	多摩	都下市・郡部

回答事業所数の規模別内訳

(単位:事業所数・%)

											(+12:-	尹未別奴*/0/
業科	規相重別	莫別	有効回答 事業所数	4人以下	5~9人	10~ 19人	20~ 29人	30~ 39人	40~ 49人	50~ 99人	100~ 199人	200~ 300人
製	造	業	3,010	40.2	22.2	16.9	8.0	3.6	2.7	4.5	1.6	0.3
卸	売	業	999	39.2	24.8	17.4	7.5	3.1	2.0	3.7	2.2	0.0
小	売	業	2,027	75.2	13.2	5.6	2.0	1.0	0.8	2.2	0.0	0.0
サ	ービス	業	1,601	47.7	18.2	12.4	7.0	3.6	2.6	5.0	3.6	0.0
建	記	業	1,132	33.9	30.0	20.9	6.6	2.9	1.5	3.0	0.7	0.4
不	動産	業	579	64.8	20.7	9.3	2.6	1.2	0.7	0.5	0.0	0.2
業	種	計	9,348	49.7 (4,649)	20.7 (1,934)	13.8 (1,287)	6.0 (558)	2.7 (257)	1.9 (179)	3.6 (334)	1.5 (137)	0.1 (13)

調査方法・対象と回収状況

1.調査機関 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部地域支援課

1.調査方法 信用金庫営業店から企業へ聴取

1.調査時期 27年10~12月期を対象に27年12月上旬に実施

1.実施状況 9,568 事業所数

未回収事業所数 220

(内訳) 倒産·廃業 96 調 査 拒 否 21 事 業 転 換 4 取 引 解 消 26

移 転 13 休 業 5 不在が続く 20 そ の 他 35

1.有効回答事業所数 9,348 有効回答率 97.70%

しんきん協議会企業会員(a1,000社) のみなさまへ

しんきんテレホン相談室(無料)

お気軽にご利用いただけます。

相談室受付時間/午後1時~4時30分

しんきんテレホン相談室

03-6228-8557

税務

法律

(水曜日)

(木曜日)

編集·発行

一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部地域支援課

〒104-0031 東京都中央区京橋3-8-1 信用金庫会館 京橋別館12階

TEL (03) 6228 - 8557 FAX (03) 6228 - 8871

印刷烘三修